

USB2.0 オーディオキャプチャーユニット デジ造 PCA-ACUP3

Digital Creation Gear Digizo

活用ガイド

本書では、本製品付属の音声編集ソフト『Sound it! 7 Basic for Princeton』を使用した音声の録音と『Sound it! 7 Basic for Princeton』の主な使い方をご紹介します。

！ 本書をお読みいただく前に

本書をお読みいただく前に、必ず「設定ガイド」に従ってソフトウェアのインストールを行ってください。
Sound it! 7 Basic for Princetonに関する詳しい使用方法については、ソフトウェア起動中に「ヘルプ」→「目次」を参照するか、付属のCD-ROM内のManualフォルダに収録されているpdfマニュアル(Soundit7forPrinceton.pdf)をご覧ください。

本文中、右記の表記にてpdfマニュアルへの参照位置が記載されています。
(右記の例では、pdfマニュアルの「オーディオポートの設定」という見出しを参照してください。)

一例
pdfマニュアル
▶ オーディオポートの設定

■Sound it! 7 Basic for Princeton に関するお問合せについて

株式会社インターネット ユーザーサポートセンターへのお問い合わせは、ご登録ユーザー様専用窓口での受付となります。※ハードウェアに関するお問い合わせはお受けしておりません。

●電話によるお問い合わせ（ユーザー登録必須）

専用サポート電話：【東京】03-3226-0208 【大阪】06-6309-1003
受付時間：11:00～13:00、14:00～17:00
※土日祝、株式会社インターネットの所定の休日を除く。

お問い合わせの際は、付属のCD-ROM内に収録されている「お問い合わせシート」の各項目を確認の上、ご連絡ください。また、できるだけ本ソフトウェアが起動しているコンピュータを近くに置いて、動作の確認ができるようにご準備ください。
また、その他お問い合わせ窓口に関しましては、付属のCD-ROMのManualフォルダに収録されているpdfマニュアル(Soundit7forPrinceton.pdf)をご覧ください。

■Sound it! 7 Basic for Princeton について

※収録されているサウンドファイルなどについては、商用目的でない範囲でご利用いただくことができますが、これらのファイルを複製したり、編集・変換したり、使用したりした内容や結果は、商用・非商用を問わず、ソフトウェアの使用が許諾されたお客様以外の第三者に配布・配信したり、放送・公開などをおこなうことはできません。

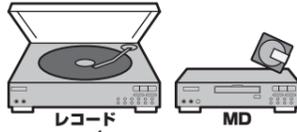
※映像、静止画、音楽などは著作物として著作権法によって保護されています。市販あるいはレンタルで提供されるビデオ、DVD、CDや、テレビ放送、ラジオ放送などは、個人で楽しむ場合を除き、複製（コピー）または録画、録音をすることが著作権法によって禁じられています。ご自身のオリジナルではないこうした著作物を、私的使用の範囲を超えてホームページなどに掲載したり、他の人に譲渡、販売するなど頒布、配信する場合（改変、編集した場合も同様です）には、著作権者の許諾を得る必要がありますので十分ご注意ください。

オーディオ機器の接続

本製品には、レコードやMDプレーヤー、ラジカセなど音声出力端子を搭載したオーディオ機器を接続することができます。オーディオ機器との接続は、2種類の方法があります。

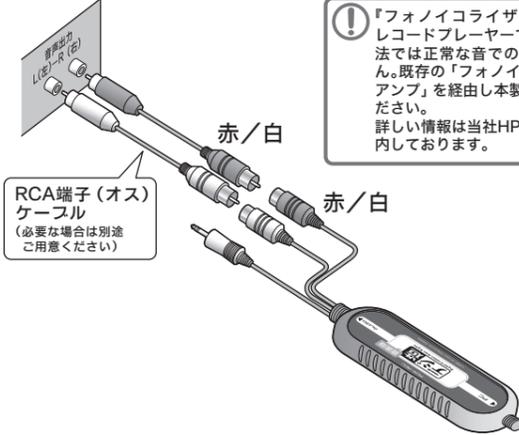


■RCA端子で接続する場合



オーディオ機器の音声出力端子を本製品のRCA端子に接続します。その際、必要に応じて「RCA端子（オス）ケーブル」をご用意ください。

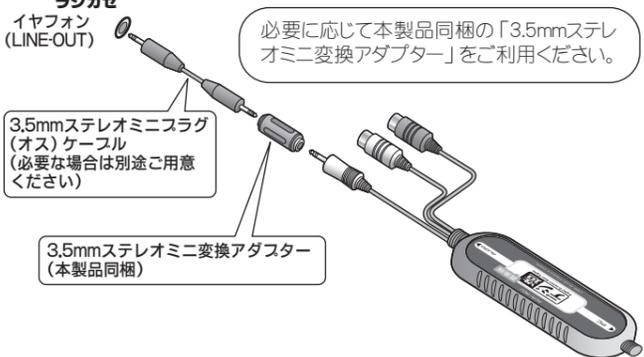
！ 『フォノイコライザー機能』が無いレコードプレーヤーでは、左記接続方法では正常な音での再生ができません。既存の「フォノイコライザー内蔵アンプ」を経由し本製品と接続してください。詳しい情報は当社HPのFAQにてご案内しております。



■3.5mmステレオミニプラグで接続する場合



ラジカセなどのイヤホン端子と本製品の3.5mmステレオミニプラグを接続します。その際、必要に応じて本製品同梱の「3.5mmステレオミニ変換アダプター」をご利用ください。

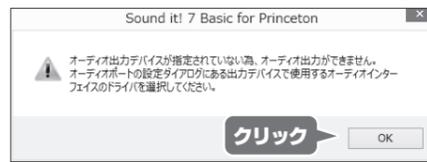


ソフトウェアの準備

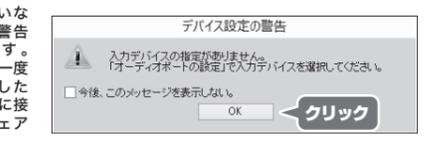
パソコンに本製品を接続して、デスクトップのアイコンか、すべてのアプリまたはスタートメニューから『Sound it! 7 Basic for Princeton』を起動します。



初めて起動する場合や音声の入出力に使用するドライバーが選択されていない場合、ドライバーの選択画面が表示されます。画面が表示されたら「OK」をクリックしてください。



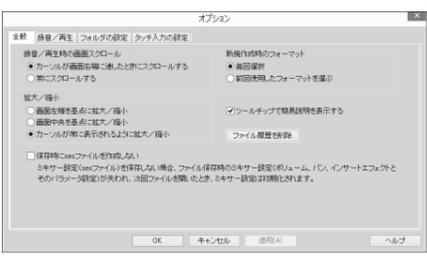
！ 本製品が接続されていない状態で起動すると警告画面が表示されます。「OK」をクリックして一度ソフトウェアを終了した後、本製品をパソコンに接続してからソフトウェアを起動してください。



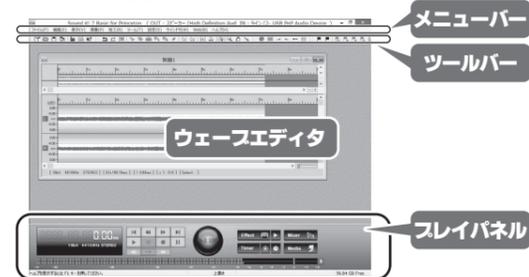
設定画面が表示されたら「[入力デバイス]」で、『USB PnP Audio Device』を選択します。ご使用の環境に応じて、出力サウンドデバイスも設定してください。設定が完了したら「OK」をクリックします。



！ [設定]メニューの「オプション」では、ソフトウェア動作や録音時の初期設定などをあらかじめ設定しておくことができます。

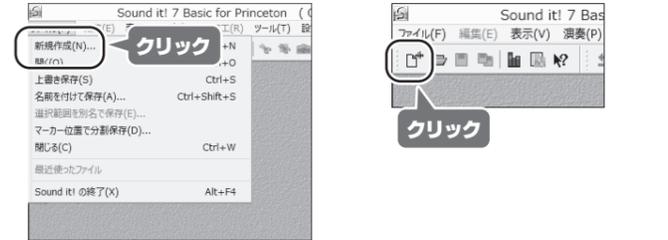


主な画面の名称

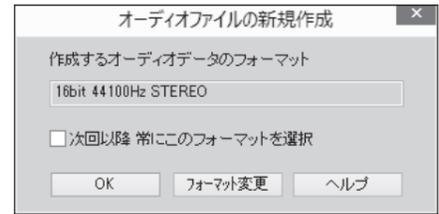


音声の録音

画面左上の「[ファイル]」メニューから「[新規作成]」を選択するか、ツールバーの「[新規作成]」ボタンをクリックすると、オーディオファイルの新規作成ダイアログが表示されます。



フォーマットの変更は「[フォーマット変更]」をクリックして、これから録音するオーディオデータのフォーマットを指定します。



フォーマットの変更

例えば、録音したデータをCDに焼きたい場合、16bit 44100Hz STEREO形式で録音します。

設定が完了したら「[OK]」をクリックします。



！ 選択できるサンプリング・レート（サンプリング周波数）は、4kHz～192kHzです。ビット・レゾリューション（量子化ビット数）は、8、16、24ビットです。サンプリング・レートが高いほど高音域の周波数特性は良く、ビット・レゾリューションが高いほどダイナミックレンジは広がります（反面、ファイルサイズは大きくなります）。音楽CDの場合、サンプリング・レートは44.1kHz、ビット・レゾリューションは16ビットです。高いサンプリング・レートで録音する場合、ファイルのサイズが大きくなり、より多くのディスクスペースが必要となります。保存先のハードディスクの空き容量には十分注意して設定してください。PCA-ACUP3では最大で16bit 48000Hzまでの取り込みに対応しております。上記を超えるビットレート、サンプリングレートで録音を行っても効果は得られません。

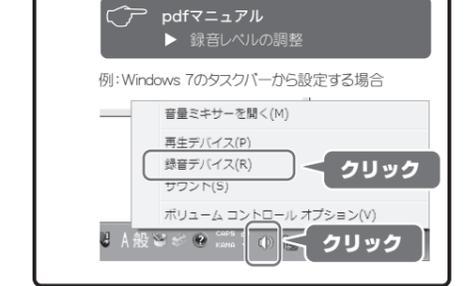
pdfマニュアル ▶ フォーマット変更

音量の設定

画面下部のプレイパネルの「[ミキサー]」ボタンをクリックすると、ミキサー画面が表示されます。



！ ミキサーのINPUTスライダーで録音レベルを調整することはできませんが、INPUTスライダーで調整しきれない場合や、S/N比を最善にするためには、「再生機器」の音量とご利用のOSの「録音コントロール」を組合せて調整してください。



録音

オーディオ機器で音声を再生します。再生スタート！

！ オーディオ機器で再生される音をパソコン側で聴くことはできません。再生状態はモニターの波形で確認する事が可能です。

「[録音]」ボタンをクリックし録音をスタートします。



「[録音一時停止]」ボタンをクリックすると録音を一時停止します。録音を再開する場合は、再度「[録音一時停止]」ボタンをクリックします。



停止ボタンをクリックして録音を停止します。

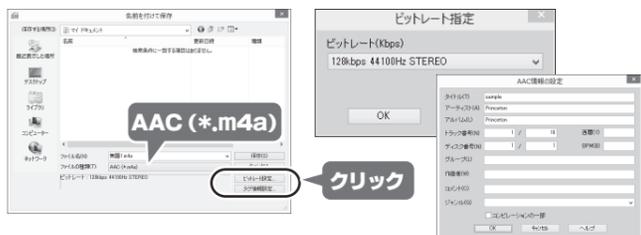
録音されたデータがウェーブエディタに表示されます。



ファイルの保存

録音やファイルの編集・加工が完了したら [ファイル] メニューから [名前をつけて保存] をクリックしてウェブエディタの内容を保存します。保存するファイル形式によってビットレートやタグ情報を設定することができます。

例えば、『m4a』形式で保存する場合は、ファイルの種類で「AAC (*.m4a)」を選択します。「ビットレート設定」をクリックしてビットレートを設定し「タグ情報設定」をクリックしてファイルのタグ情報を入力することもできます。



編集中のファイルを『WAV』形式で保存すると、「タグ情報」や「マーカール情報」も保存することができます。「チャプター情報」を保存する場合は、『SW形式(Sound it File)』または「AAC」形式で保存してください。

pdfマニュアル ▶ 名前をつけて保存

便利な録音機能

録音自動停止の設定

録音を開始してから、設定した時間が経過すると録音を自動停止します。プレイパネルの [Timer] ボタンをクリックすると設定することができます。設定は録音の直前に行ってください。設定直後の録音にのみ有効です。録音後は設定がクリアされますのでその都度設定を行ってください。

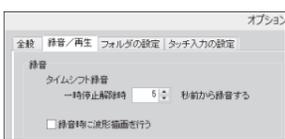
pdfマニュアル ▶ 録音自動停止の設定



タイムシフト録音の設定

録音開始のタイミングの遅れによる頭切れを回避するために、録音を開始した時点より、最大10秒前までの録音を有効にする機能です。設定メニューの [オプション] を選択して [録音 / 再生] タブから設定することができます。

pdfマニュアル ▶ タイムシフト録音



タイマー録音の設定

あらかじめ開始時刻と終了時刻を設定してタイマー録音をおこないます。プレイパネルの [Timer] ボタンをクリックすると設定することができます。

pdfマニュアル ▶ タイマー録音



データの編集 (波形編集)

Sound it! 7 Basic for Princeton では、録音された音声ファイル全体を編集加工するだけでなく、音声ファイルの一部を加工できる波形編集機能があります。ここでは録音したデータや既存のオーディオファイルをもとに、ウェブエディタでおこなう編集をいくつか紹介します。各コマンドやダイアログの詳細については、pdfマニュアルの該当ページをご覧ください。

不要な部分を削除する

ウェブエディタ上で不要部分を選択してツールバーの [切り取り] ボタンをクリックするか編集メニューから [カット] を選択します。



ゼロクロス機能でノイズを防ぐことができます

データを削除する際にブチと音切れたようなノイズの発生を抑えるため、ウェブエディタ上で範囲を選択した後、[ゼロクロス] ボタンをクリックすることで、ゼロクロスポイント (レベルがマイナスからプラス、またはプラスからマイナスに変化するポイント) で範囲指定することができます。



pdfマニュアル ▶ 不要な無音部分を削除する

選択範囲を新規エディタで開く

選択した範囲をドラッグ&ドロップして新規エディタで簡単に表示することができます。



選択範囲を無音にする

ウェブエディタ上で範囲選択して編集メニューから [消去] を選択すると、選択された範囲が無音になります。

選択位置に無音を挿入する

ウェブエディタ上で無音を挿入したい位置をクリックして、ツールバーの [カーソル] 位置に無音を挿入] ボタンをクリックすると、無音部の挿入画面が表示され設定した時間の無音を挿入することができます。



エフェクト機能

録音されたデータに対して、タイムストレッチやノイズリダクションなどのエフェクトを適用することができます。ここではエフェクトの操作手順を簡単に紹介します。各コマンドやダイアログの詳細については、pdfマニュアルの該当ページをご覧ください。

pdfマニュアル ▶ エフェクトを使う

選択した範囲にエフェクトを適用する

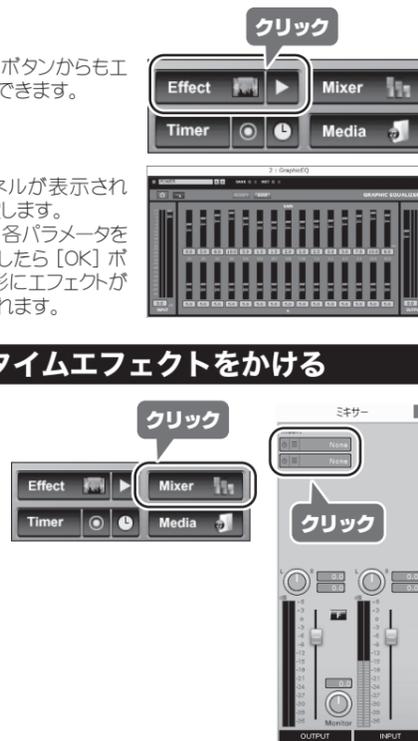
ウェブエディタでエフェクトを使いたい範囲を選択して、加エメニューの [エフェクト] から使用するエフェクトを選択すると、選択範囲に対して直接エフェクトをかけることができます。

プレイパネルのエフェクトボタンからエフェクトを選択することができます。

選択したエフェクトのパネルが表示されます。各パラメータを指定します。プリセットを選択、または、各パラメータを調整します。設定が完了したら [OK] ボタンをクリックします。波形にエフェクトが適用され、波形が変更されます。

リアルタイムエフェクトをかける

エフェクトを使いたいオーディオデータを開いてミキサーを表示します。ミキサーのインサートセクションにあるエフェクト名表示部をクリックすると使用するエフェクトを選択することができます。エフェクトを選択するとエフェクトパネルが表示されます。



エフェクトの種類



ノイズの種類について

- ポップノイズ: レコード盤に針を置いた時等に発生する“ボン”というノイズ
- クリックノイズ: レコードの傷等で発生する“バチ”というノイズ
- クラックルノイズ: レコード再生中の“プチプチ”というノイズ
- ヒスノイズ: カセットテープなどの再生中に発生する“サー”という高周波ノイズ
- ハムノイズ: “ブーン”という低周波ノイズ

サウンド分割 (無音検出)

自動的に無音部を検出してマーカールを置くことができます。設置されたマーカールの位置で分割保存することも可能です。

オーディオデータを表示します。オーディオデータの一部に対して無音検出したい場合は無音検出したい範囲をドラッグして選択します。

編集メニューの [マーカール] → [無音部を検出してマーカールを置く] の順に選択します。



無音部判定条件の指定ダイアログが表示されます。無音と判定する条件と、マーカールの種類、置き方などを指定します。範囲選択している場合は、選択範囲内で実行されます。

[OK] をクリックするとマーカールが設置されます。

マーカール位置でデータを分割する

マーカールが置かれたデータに対して、マーカール位置でデータを分割することができます。編集メニューの [マーカール] → [マーカール位置でデータを分割] の順に選択します。確認画面が表示されたら [OK] をクリックします。

マーカール位置で分割保存する

マーカールが置かれたデータに対して、マーカール位置でデータを分割して、そのまま個別のファイルに保存することができます。ファイルメニューの [マーカール位置で分割保存] を選択します。確認画面が表示されたら [OK] をクリックします。

オリジナルCDを作製する

(WindowsMediaPlayer 11以上が必要です)

オリジナルCDを作成するための主な手順を紹介します。詳しい製作方法についてはpdfマニュアルを参照してください。

pdfマニュアル ▶ 操作ガイド > オリジナルCDの作成 ▶ ツールメニュー > プレイリスト

- ツールメニューから [プレイリスト] を選択してプレイリストを表示します。
- CDに入れたい曲をトラックリストに登録します。分割 (抽出) マーカールが入力されたWAVファイルをトラックリストに追加すると、マーカール位置で自動分割されます。
- 必要に応じて、曲間のクロスフェードの設定や、各ファイルの音量を調整します。
- CDに書き込みます。

